

高円宮杯第66回全日本中学校英語弁論大会沖縄県予選大会報告

沖中英研弁論部 金城 さくら

平成26年10月13日(月)、那覇市の沖縄産業支援センターにて高円宮杯第66回全日本中学校英語弁論大会 沖縄県予選大会を開催しました。

本大会は、「国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及をはかり、日本文化の発展並びに国際親善に寄与すること」を目的に、毎年各地区から3名の代表者が集い、さらに本大会の上位入賞の3名を本県代表として東京での中央大会へ派遣しております。

当コンテストの参加者は、国頭地区3名(宜野座中・大宮中・今帰仁中)、中頭地区3名(沖縄カトリック中・与勝緑が丘中・具志川東中)、那覇地区3名(松城中・安岡中・沖縄尚学高等学校付属中)、島尻地区3名(高嶺中・糸満中・長嶺中)、宮古地区3名(平良中・上野中・砂川中)、八重山地区3名(白保中・与那国中・伊原間中)の合計18名でした。さすが各地区入賞者というだけあって、大変レベルの高いスピーチコンテストが行われました。また、本大会当日、台風の影響により与那国中学校の生徒が会場に来ることができませんでした。しかし、iPhoneのフェイスタイムを使い、LIVEでスピーチをさせることができました。沖中英研スタッフのアイデアと協力体制のおかげで、無事地区代表の全弁士がスピーチの発表を行うことができました。

審査員として、審査員に琉球大学法文学部の豊島麗子氏、島袋盛世氏、球陽高校 ALT の Ryan Ohta 氏、那覇国際高校 ALT の Jesse Whitehead 氏、普天間高校 ALT の Matthew Tweedy 氏のご協力を頂きました。

ストーリーテリングコンテストと同じ趣旨で、本大会では嘉手納中学校の喜屋武鈴子さん、奥間葵さんに司会進行役を担当してもらいました。大会参加者にも勝るとも劣らない見事な英語での司会進行は好評で、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えています。そして、前沖中英研会長・津嘉山信行氏寄贈の優勝旗が引き継がれました。

大会結果は以下の通りで、下記の3名を県代表として中央大会に派遣しました。

1 st Prize	沖縄カトリック中学校	當山 礼恵 アン	Airakuen
2 nd Prize	沖縄尚学中学校	松元 玲奈	Six years
3 rd Prize	与勝緑が丘中学校	長濱 奈甘乃	No TV Day